

だ

社団法人上田高等学校同窓会関東支部会報

母校創立70周年記念

同窓会名簿完成

希望者は同窓会本部にお申込み下さい
送料共2000円

第11回・関東支部大会開催

7月2日午後1時開場

活気溢れる第十一回大会

会員諸兄の情熱に期待!

来る七月二日第十一回関東支部大会を開催するに当たり、活力に満ち溢れた楽しい会に盛りあげようというのが、準備委員会が第一のテーマであり、その実現のために、いろいろと心を砕いておる次第です。関東支部大会も結成以来、回を重ねるにつれて、会員も次第に増加、会員相互の交流もたまり、年に一度の大会を心待ちにおられるのをよく目に、われわれとしては、心強くかつ喜んでおる次第です。しかしながら、不馴れな点や準備の点もあり、それにつきましては、これまでにも種々改善して参りましたが、ご指摘も受けておりますが、もちろん先ずは甲斐ありません。会員の皆さんにご意見ご不満がございましたら、ご指摘ご指導をいただければ、その都度幹事会に計り、ご意向にそって努力いたす所存です。なほ、今回は前回同様、次回もより一層盛大な楽しい会にしようと思っております。なお今回は、日曜日と当っておりますので、何卒、お出願下さるようお願い申し上げます。

楽しく思い出を語ろう!

遠くまで去った青春の思い出、あのなつかしい制服制帽を身につけて、古城の門を入りしあの頃に、思い出したと思つたことはあります。中学(高校)時代の思い出は、先輩友人、後輩など心おきな語れる唯一の場が、この同窓大会なのです。この日は、思い出がけな旧友と出会うたり、なつかしい旧知の消長を語り合います。これは年輪、時代を超越した共通の世界です。思い出を語り合ふことは、思い出すこと、心を通はすこと、決してありません。いや、それどころか、青春の思い出は心をうるおす強壯剤であります。皆さん、大会に出掛けて、大いに語り合おうではありませんか。

当日は、各校校長はじめ恩師各位、並びに長野県内の係及高校代表の名も揃い、より一層の盛況期とされます。

二招待者
上田高等学校校長
②柳沢 文秋殿



大会準備委員長

の大任を受けて

副支部長(30)尾台三吉

去る四月十一日開催の幹事会において、第十一回同窓会関東支部大会準備委員長の重任を受けた。まことに光栄を感ずるが、果してつとまらぬかと不安である。

四月十一日の幹事会で、尾台支部長外十名の幹事の出席をみて、準備委員会の組織が、神野副幹事長、花岡編集委員長、小林幹事外多数の若手準備委員の血の通ったチームワークにより、無事大任を受けました。

今日は、準備委員に(50)期、(60)期前後の若手を多数起用いたし、フレッシュなエネルギーによつて、第十一回大会をより楽しいものにしたいと存じます。

卒業期及び氏名を記した胸章を事務局において準備し、受付においで下さい。受付の方、成程、早目にご返して下さい。

二、当日、申込みをなして出席された方は、別個に設けられた受付です。

三、受付においで、当日の出席者氏名一らん表と、恒例の記念品手紙をお渡し申し上げます。

四、受付は午後二時から三時までの間、この時間を利用して、来賓であられる松浦先生が撮影された、故郷上田市の映画が会場内で映写されています。

特別に終戦前後にとられた貴重なフィルムが、当時の在校生の姿が写し込まれ、興味記録映画として、先年NHKの「二〇二」においても紹介されたものもあります。

同窓生各位の御一見を望みます。



本会の会報「うだ」もここに、第七号を発行するに到りました。関東支部会報発行の御協力御支援により、つぎが第七号の発行まであゆみましたことを、あらためて厚く御礼申し上げます。会員皆様方の中からは、創刊号より毎月引続き送付を受けている方もあり、中途からお受け取りになられている方もあり、そしてこの第七号を始めて受け取られている方々もあらわれること存じます。

本年二月、母校創立七十周年を記念して、同窓会本部(上田市所)において、一年有余の歳月をかけた、立派な全同窓生名簿が発行されました。

全関東支部

会員諸氏へ

全同窓生表に二万八千名、その中、関東地区居住の住所不明者四千名を数えられています。今、第七号の会報は、この関東地区在住諸氏に送付されました。手とられた会報に、若き日の古城の学びが回想され、鳥帽子、太郎の山踏が、千曲の清流が映したとき、現実のせむし(社会生活)の中において、せめて懐しい回想の同窓生諸氏に切願申し上げます。

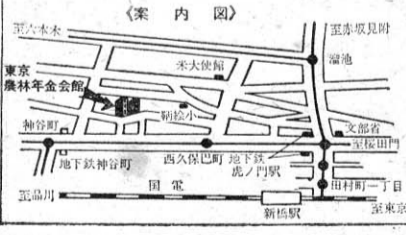
△記念品贈呈△
大会出席者へ、おなじみの校章と六文銭を染めた手紙を贈呈。

社団法人 上田高等学校同窓会 関東支部第11回大会

一、日時 七月二日(日)午後一時受付開始 映画上映 二時開会 仁御観覧
二、会場 東京農林年金会館
港区芝西久保巴町三六の一
電話(總)七六二(大代表)

◎大会次第

- 一、開会の辞
 - 二、校歌斉唱
 - 三、挨拶
 - 四、会務報告・事業計画
 - 五、会計報告
 - 六、会計監査報告
 - 七、質疑応答
 - 八、来賓祝辞
 - 九、第一部閉会(休憩)
- 第一部定期総会(午後二時開会)
- 司会 副幹事長 神野三吉男
副司会 副支部長 尾台三吉
支部長 田島三勝
幹事長 島田五郎郎
副幹事長 林郷太郎
幹事 井道教
監事 小吉井道教
同窓会本部理事長 柳沢文秋殿
母校校長 岩下美千穂
- 第二部懇親会(午後三時)
- 副支部長 大森五郎郎
支部長 島田五郎郎
幹事長 島田五郎郎
副幹事長 島田五郎郎
幹事 島田五郎郎
- 副支部長 坂井実雄



東京農林年金会館

一泊宿室(和・洋127室)
結婚式場 衣装室:美容室
大ホール(500名収容)
大小宴会場・食堂・ Grill
大・小会議室
階段研修室等料理教室

東京都港区芝西久保巴町36-1
東京 03(432)7261
(地下鉄・日比谷線・神谷町下車二分)

北朝鮮視察より帰りに

上田市長 小山一平氏語る



朝鮮民主主義人民共和国の招待により、短い日時はあったが同国の実情を見聞する機会を得た。金日成首相にも面会して、五時間三十分はわたって懇談することの出来たのは有意義なことであつた。

五月六日、羽田空港を出発して平壤についたのは八日である。日本と北朝鮮は地図の上では飛行機でわずか二時間ぐらいの距離であり、歴史的にも深いつながりがある最も身近な隣国であるが、飛行機で十時間もかかってモスクワへ行き、モスクワで平壤行きの飛行機に乗りかえて、さらに十時間を要して、ようやく北朝鮮に着ることが出来るのである。北

朝鮮は、正に近くて遠い国である。ことさへ明らな笑顔は、生憎おぼろげな曇り空に似て、目もみえる思いである。

わすか八日間の滞在ではあったが、日本と体制の異なる国の全てに興味深いものがあつた。

首都平壤市の空は美しく澄み、その壮大な都市計画と見事な都市建設には驚かされた。平壤には緑が多いというよりは、緑の中に都市があるといった方が適切なかも知れない。

日本の植民地時代の抗日闘争が教材や歌劇の題材となつていて、佐藤内閣の外交政策に対する批判はきびしく、日本軍国主義復活についても、非常に警戒心をもち、対日感情は決して悪くないという印象であつた。

特に幼稚園や学校を訪ねて、その熱烈な歓迎には、とまどうほどであつた。

小さな子供たちは両腕にぶらぶらと、大きな子供たちは、握手の手をさし、その人なつ

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

この種の大会がウィークデーの夕刻から行なわれるのは、各人夫々仕事を離れて、好都合であるからであらう。この大会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

北朝鮮の人々は、この首相を敬愛し、一つの確信のように団結して総力をあげて国家建設にまかして行っている。朝鮮戦争による廃墟の中から、自力をもつてわずか十幾年の間に築き上げた建設の成果は、何人といふも高く評価しないわけにはいかないであろう。今後、朝鮮民主主義人民共和国がどのように発展して行くかは、世界の国々の注目の的となり、益々、関心を深めて行くにちがいない。



写真は別所温泉の奇祭「岳の囃り」の行列(七月十五日)行なわれ

一つの提案

——大会開催にあたり—— 石倉 謙一 (35)

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

本年度の関東支部大会は御承知の通り日曜日に開催される事になった。実は昨年の幹事会の際に、本会が休日に開催されると同時にその出席率も如何なる成績を示すかと云ふ事も、また興味のある問題であると思つた。

前号で申し上げた本校在任の同窓生のうち年度末運動で転出した方は次の二名です。44期伊藤相摩(藤野井高)、50期山岸道弘(中野高)。

「後藤健一君をほめます」に ついて 後藤健一君は昭和四十二年六月、上田高校在学中三年生の時、体操部所属、県大会出場に備えて鉄棒の練習中に転落、第五頸椎を損傷して胸以下全身の知覚、運動機能を失うという重傷を負いました。

位見難い行つておられるようです。会社が病院の事務でもやれるような技能を身につけて、退所の勝には郷里へ帰り、近所どころかへ就職するようにしたいといふのが家の方の希望のようです。それまでには家も改造して車椅子生活ができるようにしたいといつて居られます。

東鉄工業株式会社

総合建設業
土木、建築、軌道
設計、施工、不動産業
資本金 10億円
創業 30年
常務取締役営業本部長 尾台三吉(30期)
本社・東京都新宿区千代田2-7
電話 03-268-4211(代)
支店・東京、千葉、水戸、高崎、宇都宮、仙台、横浜、静岡

今年にはまだ高年の諸君が大勢を卒業して社会に出る年であり、これを機に本校を卒業して社会に出る諸君の中心、本人は長男、外に弟二人、三弟一人、上田高校卒、国立工業試験場勤務、本年東京理大一部進学、後藤君健康状態は家にいたときに比べて格段と良くなりました。低血圧も上がって来たこと、色も大変良くなりました。低血圧も上がって来たこと、色も大変良くなりました。

「母校だより」
なつて加えて申し上げますと、後藤君は東部町律師出身、家は農業、父君は身障者手帳所持者で会社員、母君が農業の中心、本人は長男、外に弟二人、三弟一人、上田高校卒、国立工業試験場勤務、本年東京理大一部進学、後藤君健康状態は家にいたときに比べて格段と良くなりました。低血圧も上がって来たこと、色も大変良くなりました。

「留守宅」
小原東部町律師東田油田 後藤常夫様方 (この頃学校北村・田子)

若葉精密工業株式会社

精密歯車装置設計製作
精密機械仕上加工及組立
取締役社長 土屋学(31期)
専務取締役 土屋博(47期)
取締役 土屋孝(44期)
東京都目黒区八雲 2-8-5
電話(723) 1717(代表)

「六連銭(むつれんせん)」
六連銭は海野おひ真田氏の独特の家族で六文銭ももせんと呼ぶ。この紋の意義は仏教説話の「六道銭」にもあるもので、六連銭は地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人間道および天道を言ひ、六道銭は六道銭である。これを家紋としたのは、死相に六道銭をおさめる風習にのっとり戦いに臨む武士の決死の覚悟を表現したものであつた。銭は無文と三つづつ上下二列に連なるのが正しい。

「城」
天正十一年(一五八三)真田昌幸の築城。千曲川に臨む平野に城下町が広がった。真田氏は二代四十一年松代に移り、小諸から仙石忠政が入った。忠政とその子孫は上田城を築いた。

「郷外」
大正八年市制施行以来五十有余年。千曲川の清流でとれるアユは七

国際電飾工芸社

ネオン、プラスチック看板
設計、製作工事
代表者 中村礼三(32回)
東京都杉並区成田西2の22(〒166)
TEL (398) 6045

泰山会春季大会

(13) 馬場 友義

昭和四十七年五月十五日(日曜)の予定であったが当日は折悪しく上小地方の交通ストに依り、乗物一切がストップした。上田まで帰る事が出来ず、一同大変心配したが幸い馬場友義君の好意に依り、同君取組役員長の信和紡績株式会社マイクローバスを田代温泉まで送り、午前十時二十分一同上田に乗り着き、上田駅まで行き同駅前で解散した。

尚泰山会では今秋秋季大会を当番幹事船橋代治、馬場友義両君より上田中学第三十三期同級会の名称を「泰山会」とすると提案し、満場一致の賛成を得て決定した。

二十二三回クラス会

(23) 大森 頼雄

上田田温泉、ホテル八幡という耳新しい名前である。三月十九日連休を過ぎ、倉敷に下りたつと偶然一緒になった七人のクラスメンバーは、ホカホカと暖かい小春日和だ。ホテル八幡は七人とも知らないというから新しいに違いない。電話連絡で迎えに来て貰ったバスで行く。街外に立つた鉄筋コンクリート七階建ての立派なものだ。

控室では十数名の先輩が賑やかに話合っていた。一風呂あびて一時前開会となる。総数二十五名、地元の宮入雄吉、松田千里の両君が幹事役として万端を苦勞顧った。東京からは樋口格(坂口)、木村末武(曾根)、桑原民二(甲田)、竹内保(大森)と六名、地元から同幹事のほかに中村加治馬・瀧沢武夫(押金)・横関長雄・瀧沢万二(寺西)・若林孝男・中川東、池田亨(望月)・小泉所・瀧沢誠(近藤)・桑原周・香山順三・宮沢三郎・小林己根夫・清水次郎・龜野進平・細田広康・横山功、宮入・松田同幹事の挨拶、乾杯についで久振りの顔が懐しいのか、すくなくも各人が動き出して話をはじめた。さあ大変

会の動き

校歌は知らぬ者も多く信濃の国でくりをつけ、三時ともなればそろそろ閉会となる。

談して笑って飲んで歌って、過ぎし日を懐い、明日の日を語り、昔のままの友達の気分ひたることのできるひととき、それがクラス会だ。職業も地位も、思想もかまはない。クラスメートにかわりはない。来年は卒業後五十年になるので上田付近で盛大にやろうという話で別れた。盛大といつても多数の顔を揃えずという話で、あつた。夫人同伴の人も出ていた。あと木村・竹内・大森と同室で二泊、松田君と四人でまた夜のとき、一杯やりながら語りあかした。遊みきった夜は朝な夕な楽しみで腹いっぱい吸って来た。帰りの列車も超職員だった。

30期中会開催

(30) 尾台 三吉

関東支部関係の30期会員は48人であるが、五月八日録したる上野の森の森生会館で開催したところ、25人出席の盛況で、卒業以来41年ぶりで、初対面の人も多く名乗りをあげるまでは全然見当もつかない人もあったが、次第に少年時代の面影が出てきて「おい、お前の」の少年時代に、話に花が咲いて、閉会の時間となっても散会するのに骨が折れた次第であった。

出席者は、赤松暹、朝倉保平、大森松夫、奥山寿人、木内徳五郎、熊谷(保)進司、小林政家、佐藤茂、田口真六、手塚寛、長張健一、成沢省三、南波武吉、西沢秀

異色合同クラス会!!

上中・上田高女三二一会

(その第三回会合記)

昨年八月三日、久しぶりに開催された「上田合同三二一会」即ちそのかみの上田中学第三十一期生と、上田高女第三十一期生との合同クラス会が、次回幹事の責任において再びその第三回目が計画された。

タマゲタな、何しろ第三回目の幹事連は、何れも真面目なコトコチの模範生だったから、前回の約束を催促している。時は流れ過ぎて行く。記念写真というところでペラペラに出てパチリとやってく、また話が続く。時は良しここでと松尾城頭(の)応援歌で、ばん声をはりあげて何回も繰返し、残念ながら合通知をよみつける。

つい四日前の二月二十日(日)故郷上田市別所温泉、在郷幹事の計画により我々上中三二一会をひらいたばかり、こちら別所路からは小山豊、宮坂三吉、玉井康彦、矢島五郎の諸君が出席、在郷者二十余名と語りを叙して深夜まで歓談に寒夜を語り明かした。在郷在郷の楽しさ、三二一会であった。

その宴席で都路参加の代表者が四日後の「上田合同三二一会」が東京である由を告げる、わんだれも故郷を代表して出席しねえとイケネエと、釘をさす。在郷者は大人しかったな、お互に顔見合わせ、東京の野郎共はエレエトコトや、恋をやって3回に達したが、その都度立上って元気なやっていると頼む話、正義感強く、教師をいじめて停学処分をうけた武勇伝、容ぼうに自信がなかった(本)人はそう思っていたらしいが、女性にもたいたためならば、実際は男らしもてる顔であった様に思う。制服の上等なのを着てカパーした無邪気な話、女学校の同期会と共催したり全員出席するから次回はその様にやってくれ等という話も出た。初孫が出来た話、年頃の子ががいるので相手を頼む等という話も相当出たが、選考を前にした親心というもので自然の成行きである。中学校のクラス会というものは利害にも無関係、職業も様々でも同郷という点で他のいかなる集りにもない楽しいものである。

東京上中三三三会

(33) 弘 世 弘 信

至つて健在の田、大いに快哉である。在京上中三三三会の会合日は従来、春夏秋冬四季折々に開いてきたが、十年前から三月三日を会合と決定し現在に至っている。それも三月三日が会合と決定した理由はわかれ三三期生が戦時中日午後六時から上田市近藤牛肉店車入として車馬として、また、銃後にあつてもさんさん(三三三)な目にあひさんさん(三三三)苦勞した同期がいまやさんさん(三三三)と光り輝く三三三会という語呂合せと卒業日が三月三日の思い出の深い日であるので、この日が満場一致で採用されたのである。

五十五才という年齢ともなれば社会の中堅として活躍しているの、話も事柄の苦しい、自慢話、また失敗談、さらには年ごろの愚言、娘をもっているの、緑談話にまで発展して、話はずみ時の経つのを忘れる程賑やかな一夜であった。またの再会を約して、戸外に出たときは雨もやんでほろ酔い気分の有志は三五伍とネオンまたたき銀座街に消えてい

去る三月三日、小雨の降る豊大候で出足がくじかれははかど心ひそかに笑っていたが、定刻近くに京上中三三三会を新橋の「お多幸」に運んできた。

当夜の会する者二十七名。このうち大阪から伊藤、勇君、上田から飯島栄次君が遠路はるばる馳参し、夫々の地元同期生の消息を伝えてくれた。各地の同期諸君は

当日の参加者氏名
荒井和夫・飯島力夫・飯塚茂男・五十嵐八郎・五十嵐正人・石井正六・加藤鉄司・川崎喜久治・倉沢正吉・神津源一・小松原雄・佐藤次男・清水吉吉・白井善臣・下村正五・鈴木真二・竹内重・田中弘毅・竜野宗男・土屋三男・中曾根五郎・中沢亮太・弘世弘信・比留間金雄・保科 敬・伊藤二男・飯島栄次



東京三三三回の面々

お知らせ
恩師林幸四郎先生(日本水彩画会・春陽会)の個展が左記により開かれますのでおかけ下さい。
一、テーマ「信州の山々」
一、水彩・油絵・四・八号三十枚
一、於ゆきや画廊(銀座四十四和光のとなり)
一、七月十一日、十六日まで

総合建設業

株式会社 拓建興業

代表取締役 飯塚茂男 (33期 上田市)

本社 東京都台東区東上野3-37-9
TEL 832-0553 (代)
自宅 東京都板橋区南町25-5
TEL 959-3990

日立製建設機械
米国インター製建設機械
大口徑基礎工事用機械
連続壁工事用機械
アースドリル、ベント工事

東京ブルドーザー (トープル)

東京都中央区新川2-11-1
電話 (552) 1191 (代)

取締役社長 土屋 二三男 (33期 上田)

ビル総合管理
清掃、警備、空調及電気、ボアリング場レーンメンテ、メカニックビル改装、営繕工事

土屋工業KK

東京都港区芝西久保広町29
電話 (432) 4724 (代)



信州むかし噺

天狗野郎とかくれ蓑

宮下 幻一郎

(38) 小林 増 太

近頃は狸に化かされた話の天狗や河童の話が、あまりきかなくなりました。文明が進んだおかげで、この地球上にはい

さまじい伝説が多々ある。その二三を紹介すると、むかしから浅間山には天狗が

人物 発見 宮下幻一郎と木下美栄子

作家 女優



宮下幻一郎(本名は小林増太38期)小泉郡東部町常田出身。作家として活躍中。

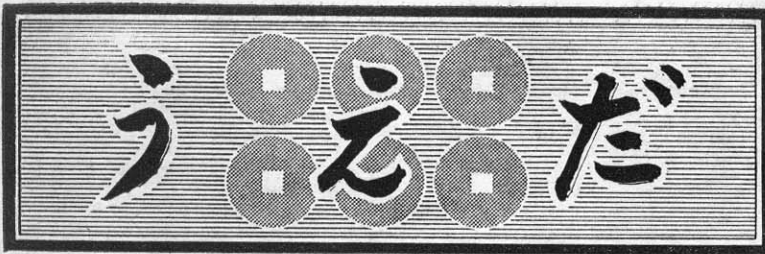
こうした諸々の伝承を総合してみると、天狗というのは、超人的な術の持主ではあるが、どこかお人好しで、滑稽(こっけい)で、悪人には怪力をふるうが、大衆に

秘策

天狗の洗髪を済まして、しおしおと家に帰った佐太郎、昔の顔を

上田高校同窓生分析一らん表 (47・4・11)

Table with columns for year, period, graduates, deaths, survivors, and regional branches. Includes a summary row at the bottom.



郷里を身近に

ノスタルジア信州の会いよスタート

第二回・研究会開く

実地見学と

別所温泉で 打ち合せ会議

当会より五名・地元より二十三名が参加

本紙五号三頁の「郷里と結ぶパイプ」で紹介の第一回研究会に続き、第二回の研究会が六月十一、十二日の両日にわたり郷里で開催された。あいにくの雨にもめげず、マイクロスパスにての実地見学に続いて別所温泉いづみや会議室に関係各団体より三十名が参集し、夜遅く迄熱のはいった討論が和やかに交わされ、翌日は雨にたたられたが見学を続行し郷里のすばらしき数々を再認識した。そして近々入会受付を開始し今秋には第一回の催しを行う事として「ノスタルジア信州」の会がスタートされた。ために、この会の紹介と諸兄に呼びかけ、郷里の発展に寄与するともに、「郷里を身近に」の目的に添って、今回の研究会報告を兼ねてこの号外が発行されることとなった。

◎実地見学の記

六月十一日(金)午前十一時半 近く、そ降る雨の上田駅頭にて我が関東支部の有志五人が参集した。即ち

- (二期) 和田 齊 (三期) 矢島 五郎 (五二期) 半田収一郎 (五三期) 村田 寛 (五五期) 成沢 祐介

(第一期)の研究会には出席した酒井論一、神野勝男、丸山英人の三名が夫々都合が悪く来られなかつた事は残念だった。

今日は上田市観光課で練られたノスタルジア信州の観光ルートの中のの一部を実際に回つて見ようとのお招きで市からマイクロスパスにて六人の方々が迎えに来て居て下さった。即ち

旧市内見学

まずは母校が懐かしくつとのお計らいから上田高校を皮切りに旧市内巡りとなる。母校の垣が市の史跡で校門が上田市の文化財に指定されていると説明を聞いて、はじめて知った、染谷正高の横を通つて山口のリンゴ園を眺め、超

ふるさとへの使者

ノスタルジア信州へのお招き

上田市観光課

都会生活のなかであつて、常に民営でもあり、常に思い出すのは、なつかしい信州、わがふるさとでしょう。そゝろの漬物、山菜など、信州の蔵心、安らぎのひととき、ふと心の中に往來するもの、ふるさとの四季でありましょう。私たちがこの思い出のほかにノスタルジア信州へのご入会をお勧めにしたいのです。それは私たちが育つた上田地方の四季の味、訪ねながら郷土のなつかしい

高級リンゴ、もた分出来るようになったと聞く、そして少々遠く鳥飼子の下に見える岩清水が最近夏期学生村として、又トウモロコシを、もぎつてその場で焼いて食べさせるのが名物となり評判との事だ。むかしは瓦焼と云つた云う川原柳へ戻り、新しい合同庁舎(旧染谷高校)前からの出町、上田東高校(元の小泉養業高校で今は普通高校)を通り信州大学繊維学部に行き同大学の同窓会責任者でおられる信州大学教授

北條 静正氏

をお迎えし同行されることとなる。大宮前より新町へ抜け(鳥田薬屋はなくなった)北園街道、松尾町、新上田橋を渡り右へ上田の上を走り上手の切れるところの川原に出来る小橋、つげは、なる、ハヤ料理を御馳走になり野趣味豊かに舌つみをする。腹ごしらえの出来たところで塩田方面の見学にスタート。

観光見学

泉田の福田にレジャー農園なるものがある、十坪単位で年間五千円を支払う作物の植えつけから手入れと一切やってくれ、自分は裏入れにだけ行けばよいという結構なものでナス、キュウリ、トマト、キャベツ等豊富に得られるとのことだ。次は山道に入り、ゆらぬながら須川湖へ、小さい湖だが静かで気分が良い、別荘地も近くにあるとか、更に山道を入ると湖の奥なる山の断崖が見られる。この付近は松林が多く松茸狩りも楽しめるそうだ。

打ち合せ会議の要点

会議は七時過ぎより小山上田市長並に地元協力団体代表の方々が加わり前期実地見学を行った人達と合わせ二十八名で開会された。土屋部長・開会挨拶につき地元産業者代表者の多数出席に感謝され、特に我々の出席に対して感謝の意を強調、本日の会議についての協力を懇請された。

事業計画内容

◎旅行会(入会方法等・詳細は追って御通知します)

- 八日登壇する風景祈願の会 ●菅平スキー会 ●北同郷の節分男女と年女の会 ●須川スケート会 ●真田三代の城と軍略を訪ねる会 ●菅平ゴルフ会 ●おはつてといここの炬燵会 ●まつたけ狩 ●別所温泉岳の轍と千曲川つげは会 ●ぶどう狩 ●千曲川の太公望と川魚料理研究会 ●りんご狩 ●ごん虫・草花採集のついで ●信州回遊の会 ●故郷の俳句・短歌のついで ●信州の鎌倉・中津の探訪と前山寺のおはぎ会。等

◎物産品頒布会

- りんご ●信州みそ ●うめ漬 ●高野野菜 ●うり漬 ●高野野菜 ●ぶどう(巨峰) ●野沢菜漬 ●菓子くるみ ●川魚 ●鮎甘漬 ●鮎・鯉の加工品 ●菓用になしん ●農芸品 ●上田産物 ●祭や行事の記念品 ●郷土の発展や現況を知らせる本、写真、パンフレット。等

◎上小漁業協同組合

理事 春原 博氏 常務理事 浜 好彦氏 塩田鯉の養殖出荷状況や、その調理の仕方とつげは、あめ、もめた塩漬の抱負を説き、一般意見を求められた。

◎別所温泉観光協会

会長代理 竹内 茂夫氏 別所温泉地区長 山根 真澄氏 別所へ通じる道路の整備と七百台を収容出来る大駐車場の新設等受入れ態勢に力を入れ温泉の風情を充分味わってもらう別所にするとの明るい未来図を示された。

◎信州人参農協同組合

参事 大井恒三郎氏 同副主任 武井 昇氏 郷土の恵まれた環境から生まれ信州人参の成果と効能を説かれ加工品サンプルを呈示された上に試飲を進められて販路拡大を望まれた。

◎上田民芸振興会

会長 宮沢三男氏 同副会長 橋詰 藤雄氏 郷土色豊かなマユ玉民芸品や木彫箱、のれん等展示されたが都人会の好みを問われた。チャコール信州 主宰 宮島 博敏氏 開口一番「しは焼くわし

Table with 3 columns: 参加を呼び掛ける団体 (Organizations invited to participate), 協力団体 (Cooperating organizations), 主体団体 (Main organizations). Lists various local groups and their contact information.

